

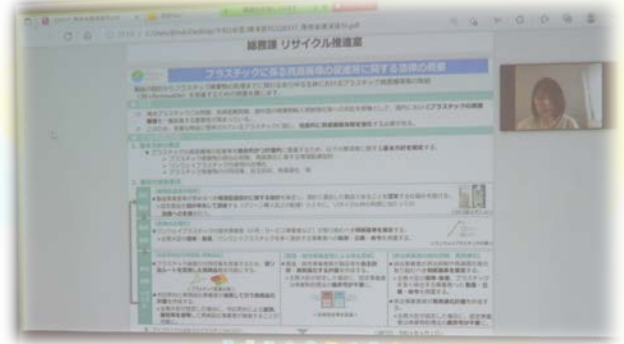
建廃協NEWS87号



3月17日 新春セミナー開催

コロナ禍のため昨年は中止、今年は2カ月遅れで開催することが出来た新春セミナーです。

第一部のセミナーの最初は、環境省リサイクル推進室統括補佐の江藤様より「プラスチック資源循環法について」の講演をいただきました。今年四月より施行されるこの法律の趣旨は海洋プラごみ問題や気候変動問題など多くの問題がある中、国内におけるプラスチックの資源循環を一層促進する事が重要であるため、「製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに係るあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組み（3R+Renewable）を促進するための措置を講ずる」という事です。その内容として、「環境配慮設計」「使用の合理化」「市区町村の分別収集・再商品化」「製造・葉塩梅事業者等による自主回収」「排出事業者の排出抑制・再資源化」が求められています。この中で、「排出事業者の排出抑制・再資源化」においては①排出抑制②分別排出③再資源化できる物は再資源化すること④再資源化できない物で熱回収できる物は熱回収を行うこと（熱回収を行う場合は可能な限り高効率の熱回収を行うこと）、が求められています。また、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量が250 t/年以上であれば、多量排出事業者となり、目標設定を行い、また情報の公表に努めなければならないとの事でした。なお、RPFの製造は高効率な熱回収に該当するとの事でした。



次に、(株)ワイエムエコフューチャーの谷口氏から「これからの産廃DXについて」の講義です。「私たち産業廃棄物処理業者はDXの前にIT化も遅れている。まずはIT化を進めDXに繋げていく必要がある」との内容で、組合や一都三県の産廃協会で進めた品目名称統一化を出発点とし、廃棄物辞典とも言える「建廃NAVI（仮）」を作成し、そこから配車依頼、作業証明、マニフェスト、検収、請求までを繋げられるようデジタル化し、人手不足等に対応するために作業効率や生産性を高めようというビジョンです。これにあたり、組合賛助会員である(株)JEMSの鈴木常務様からもタブレットでの操作イメージが披露されました。

地球環境問題への対応やDX化による新しい時代に取り残されないよう考えさせられる貴重な時間をいただきありがとうございました。

部下が育つコミュニケーション講演会

第2部は青年活動委員会の提案で実現した、福田賢司氏による「部下が育つコミュニケーション」と題してお話頂きました。

「人が育つ働きやすい職場」や「部下の信頼を高める意識と行動」、「ほめる・叱ってを巡って」などの内容に沿って具体的な話を交えての講演でした。

受講者の感想は、

- ・大変参考になった
 - ・共感もてた
 - ・自分の意見押し付けるのではなく部下の意見を受け入れながら指示、指導等を行っていききたい
 - ・部下は会社から預かっている宝など、コミュニケーションの認識を再度確認したい
- 等の感想を頂き、アンケート結果でも内容に非常が良かったという回答を頂きました。



福田賢司氏

懇親会

第3部は2年ぶりに、コロナ対策を施し、食事会を開催しました。日建連をお迎えし、賛助会員の皆様、共同購買先の皆様とともに、懇親を深めました。

理事長挨拶から始まり、日建連の皆様のご挨拶、共同購買先の宣伝タイムと皆様の名刺交換とすすみ、最後は副理事長の挨拶で締めとなりました。



理事長



日建連の皆様



共同購買先の皆様



副理事長

お知らせ

★春の交通安全運動を4月6日より10日間実施いたします。事故ゼロを目指しましょう。

★5月27日金曜日に日本教育会館にて通常総会を開催します。5月になりましたらご案内をいたします。

